

# 第58・59回定時総会 特集号

発  
行  
(社) 埼玉県接骨師会  
総務部

## 59回 社団法人埼玉県接骨師会定時総会



第58・59回定時総会・淵辺会長挨拶

第58・59回定時総会には会員の皆様におかれましては、多数のご出席を頂きありがとうございました。両総会とも会員総意により無事終了することができました。殊に59回総会には、埼玉県知事代理・埼玉県保健医療部長・宮山徳司様、衆議院議員・山口泰明様、衆議院議員・三ッ林隆志様、衆議院議員・金子善次郎様、参議院議員・関口昌一様、参議院議員・古川としはる様、衆議院議員・大野松茂様・代理秘書・小島清人様、顧問弁護士・加藤興平様、そして本会相談役の皆様にご臨席を賜り

ました。ご来賓のご祝辞には柔整業務への限りない期待と、今後に向けての熱いメッセージが多く寄せられました。私ども会員一同、胸を熱くしながらも未来を見据え、新年度を期して決意を新たにしました次第です。

### 会費の安定化・・・大幅な経費削減 保険者対策“正しい支給申請書”死守

さて、私自身、埼接会長を仰せつかり、3期目・5年が終わりました。この間、柔整業務の社会への正しいアピール、認知の必要性から、さまざまな事業を計画、実施し内外に亘り強固な基盤整備を行いました。

- 1) コンプライアンス（法令順守）により定率会費の累進性が定着し会費の安定化が図られた。
- 2) 「柔整師の現状と将来に向かって」の勉強会を実施し、320余名の会員が出席。さまざまな角度から柔整業務を検討。
- 3) 受領委任払制度堅持に向け、埼玉県知事、自由民主党埼玉支部連合会へ要望書を提出。
- 4) 保険者対策として“正しい支給申請書”死守に向け、協議会等を開催。会員の血と汗の滲む申請書に対し1円たりとて無駄にすることなく、保険者等との対応を行う。
- 5) 埼玉県、埼玉県医師会、埼玉県柔道連盟、埼玉県警察等との協議会を実施し、柔整業務への正しい理解をアピール。
- 6) 日整では埼玉県役員の積極的活動により成果を修めている。

### 《20年度重点目標》 公益社団認定に向け、更なる改革・・・組織強化

- 1) 公益社団認定へ更なる改革の必要性。
  - 2) 組織強化に向け会員の団結と協力。
  - 3) 受領委任払い制度の堅持、後期高齢者医療制度（長寿医療制度）全国健康保険協会への対応並びに保険者との折衝強化。
  - 4) 埼接創立88周年・社団設立60周年記念式典の実施。
  - 5) 埼玉県、埼玉県医師会をはじめ各団体との連携強化。
- 以上、理事会、支部長会等において、常に問題点を共有しながら会員の意見を真摯に受け取り、

### 第58回定時総会

平成20年3月15日（土）埼接会館において第58回定時総会「予算総会」が開催されました。総会は会長の挨拶に続き、議長に澤田 茂会員（埼葛支部）副議長に伊藤幹男会員（本庄支部）が選任され、同氏はこれを承諾して議長席につき、会員数866名中、出席者73名、委任状630通、合計703名となり、定足数433名以上の要件を満たし、定款第5条により定時総会成立を宣し、議案の審議に入った。

議長は「第1号議案」平成20年度事業計画についてを総務部長に説明報告を求めた。

総務部長は

- 1) 平成20年12月から施行される公益法人制度改革に向け準備、対応を進め定款並びに会計基準、事業内容等を成熟した組織体としていき、法令順守に沿った会運営を行って行き、市民講座等を開催し公益性をアピールしていく。
- 2) 埼接社団60周年記念式典を21年2月22日にパレスホテルにて開催。
- 3) 公益法人会計は予算準拠主義のため、前年度の実績に対し、定率会費を徴収し予算立てを実施しているため、各事業の実行率は高くなり事業がおこなわれている。
- 4) 保険者等との協議会を実施し、相互理解を深めるとともに信頼関係の構築に努め、社会的地位の確立を図り、積極的に諸問題に取り組み、支給申請に対する信頼度を高めることとする。
- 5) 支給申請書の返戻等に対して、従来のチェック体制を一層、確実・早急に処理するよう事務局職員の指導を強化し、会員への返戻を極力減らし、また本会の顧問弁護士と闘っていく。
- 6) 診療報酬明細書オンライン化が2006年正式決定し、療養費にたいしては枠組みに入っていないが、十分な対策と準備が肝要であるため、研究・調査していく。
- 7) 介護・生活習慣病分野等への業権拡大の試み。
- 8) 埼玉県医師会等との医接連携の更なる強化。
- 9) 埼玉県接骨師協同組合への協力等8項目の20年度事業計画についての報告をされた。

議長は本件につき議場に諮ったところ承認された。続いて議長は「第2号議案」会費納入についてを議長は総務部長に説明を求め、議長は本件につき議場に諮ったところ承認された。

続いて議長は「第3号議案」平成20年度収支予算についてを企画・経理両部長に説明報告を求めた。

企画部長は、20年度収支予算編成については収入財源状況を十分に認識して、ゼロベースから事業の検証・見直しを行い、具体的に①必要性②有効性③効率性④類似性を視点としていくことと報告。

引き続き経理部長からは収支予算の内容について概要説明があり、また、年度末の収支の増減は予備費にて調整し、5月総会において補正予算として上程する旨の報告がなされた。

議長は本件につき議場に諮ったところ承認され上程された全ての議案が質疑応答後承認され閉会となった。

